

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・昨年よりは学校教育目標の認知度が上がったものの、まだ十分とは言えない。特に学級目標や個人目標を知っていてもそれを達成する努力をしていないと感じている児童が少なからずいることを踏まえ、全員が目標に向かって努力できるよう指導を続けたい。
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤ ④3%	課題解決への方策 ・年度当初や学期初めに書いて終わりにするのではなく、振り返りの時間を細かいスパンで設定したり、朝の会で毎日繰り返したりして、児童がいつも目標を意識できるような環境を作っていく。
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・昨年度からはよくなっているということだが、まだ学校教育目標を知らない割合が多い。学校だよりやホームページにも学校教育目標を載せてもらっているが、もっとたくさんの保護者にも見てほしい。
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・「学級が楽しいと感じている」という児童が①②を合わせて9割を超える結果が出ており、喜ばしいことである。しかし、そうは感じていない児童や保護者が、楽しいと思えるよう引き続き学級経営を行っていきたい。
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5 ④2% ⑤0%	課題解決への方策 ・児童の学級での様子が保護者に伝わっていないことが考えられる。児童の良い面や、がんばったことを学級通信やホームページ、C4thのメール等を使い、積極的に発信していく必要がある。
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級づくりをしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤ ④3%	学校関係者評価委員会による評価 ・「学級が楽しい」と答えた児童が9割いるのが何よりである。学校は、児童が楽しく通えることが一番である。 ・だいが前の時期に見た授業風景と比べ、長久保小が変わったということを感じた。
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・ICTの活用や学び合いの手法を取り入れた授業など、授業にも様々な工夫をしていることにより、児童や保護者からも肯定的な評価を得られている。
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・「聞く」ことを大事にしながら、学び合い学習についてさらに研修を重ね、子供たちに力を付けていきたい。
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤ ③1% ④0% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・全体的に、子供たちが落ち着いて取り組んでいると思った。 ・学び合い学習をどの学年も実践していてとてもよかった。先生から一方的にではなく、頻繁に意見を言い合って、他の子のいいところを真似てみるなど、その姿勢のおかげで学び合い学習の結果にもつながっているのかなと思った。
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・ICT機器について研修を重ねているところではあるが、苦手と感じている教職員はICTから遠ざかる傾向がある。研修を重ね、とにかく使ってみることを進めていきたい。
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・学年学級の枠を超え、いいものはどんどん取り入れていくという姿勢で今後も研修を重ね、教職員全員がICTを使いこなせるようにしていきたい。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・授業を参観していると、長久保小は全体的にICTをよく使っているのではないと思う。ただ使い方には先生によって差がある。 ・自分の子が持ち帰ってくるタブレットを一緒に見ることがあるが、同じクラスの子の考えなどを見て、その子の新たな一面が見つけられることがある。自分の子の勉強内容を見るのもいいが、同じクラスの子がどんなことを考えているかとか、どんな子なのかがわかることで子ども同士の関係を理解する一助となることもある。せっかく家庭に持ち帰るのだから有効に使いたい。 ・ICTを活用している場面を地域の方には直接見てもらっていない。地域の方にもそのような場面を見られるようなPRが必要なのではないか。
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・教職員と児童・保護者の評価では若干の開きがある。教職員と児童・保護者の間で「運動機会の確保」を重点に答えたのか「体育的行事の充実」を重点に答えたのか等、質問の捉え方に違いがあった可能性もある。
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・休み時間に児童と一緒に外に出て、一緒に遊んだり運動したりしている教職員が本校は多い。外遊びを奨励する意味で、いい取り組みだと思っている。 ・体育的な行事を公開する頻度が少ないため、さまざまな取り組みが保護者には伝わっていないことが考えられる。
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・長久保小の子は、全遊時間にもよく外に出て遊んでいるし、元気があると思う。
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導 ①	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・児童の評価の中で「相談」ができていないと感じているのか「一緒に解決」ができていないと感じているのかが不明ではあるが、児童が安心して教職員にも相談できるよう、相談体制を整えていく。
	児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・児童には「困ったことがあったら、先生でもおうちの人にでもいいから相談してほしい」ということを繰り返し指導していく。 ・保護者には引き続き小さなことでも連絡を密にとるようにしていく。なかなか連絡が取れない家庭にはC4thのメールを有効利用していく。 ※「あまりない」「ない」と答えた児童に話を聞いたところ、「そもそもいじめなどのトラブルがないから相談する必要もないと思ったので」という答えも多かった。
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・保護者の側からすると「学校に行くのはどうもハードルが高い」と感じている保護者が多いようだ。保護者と学校でコミュニケーションを密に取れることが大事だし、直接話をする事で伝わることも多い。校長先生からは「何かあればいつでも学校に相談してください」と言ってもらっているが、なかなか行動を起こせない保護者も多い。学校には学校に来ることのハードルを下げるよう一層PRをしてほしい。
	地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導②	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・教職員の評価と児童・保護者の評価には若干の開きがある。家庭や児童のニーズを捉え、期待に応えられるようさらに研修を重ねていく。
	児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・児童が普段ががんばっていることや、光っている場面などが家庭にはあまり伝わっていないことが考えられる。学級通信やホームページ、週予定表等を活用して児童の良い面やがんばりを積極的に発信していく。
	保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤ ④3% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・希望制個人面談が3学期初めにあるが、このような取り組みで学校と保護者がもっと児童のよさも悩みも共有できるとよい。
	地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・担任一人で学級の児童全員を指導していく中で、どこまで個に応じた指導をできるかが悩ましいところである。ICTや個別の声がけ、個別の課題等さまざまな工夫をしているところであるが、なかなか家庭の要望に追いつかないところがある。
	児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・学習面での苦手は休み時間やICTを活用しながら、克服できるよう児童に寄り添った指導を続けていく。 ※「自分の苦手なことだから、特に相談はせずに、自分で解決していく」と考えて「あまりそう思わない」「そう思わない」と答える児童も複数いた。
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤ ④2% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・先生方に個々の対応をしてもらっているのは重々承知しているが、保護者の側にはそれが届いていないように思う。保護者の方々にもっと学校に来てもらえるとよい。 ・個々にそれぞれ対応してもらっている一方で、まだ授業や学習になじめない子がいることも事実である。ただ、担任の先生ではもう手が足りない。補助をする人を増やしてもらえれば…と思う。
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
地域とともにある学校	教職員	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>61%</td></tr><tr><td>②</td><td>35%</td></tr><tr><td>③</td><td>4%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	61%	②	35%	③	4%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題 ・学校応援団や学校運営協議会について、活動の内容が保護者にうまく伝わっていない部分がある。
	評価結果	割合														
	①	61%														
	②	35%														
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
児童				課題解決への方策 ・学校応援団や学校運営協議会にはいつも助けていただけてとてもありがたい。ただここまでお願いしていいのか、どんな内容がお願いできるのかがよくわからず、躊躇してしまう側面もある。さらに打ち合わせを密に行い、地域からも力を貸してもらいながらよりよい学校づくりをしていきたい。												
保護者		⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>29%</td></tr><tr><td>②</td><td>47%</td></tr><tr><td>③</td><td>19%</td></tr><tr><td>④</td><td>5%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	29%	②	47%	③	19%	④	5%	⑤	0%	学校関係者評価委員会による評価 ・先生は先生同士、児童は児童同士で熟議をし、先生方は地域にしてもらいたいことの要望を提案する。児童はもっと自分たちの学校がよくなるためにこうしたい(してほしい)ということを提案できるとよい。その上で学校運営協議会は何にができるのか、どういう協力ができるのかなどを話し合っ、できることを模索していくようにできたらよい。来年度以降、熟議をもっと発展させて、みんなが参加してさらによりよい学校にするという意識を持つことが大事だと思う。
評価結果	割合															
①	29%															
②	47%															
③	19%															
④	5%															
⑤	0%															
地域		⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>60%</td></tr><tr><td>②</td><td>40%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	60%	②	40%	③	0%	④	0%	⑤	0%	
評価結果	割合															
①	60%															
②	40%															
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立長久保 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・働き方改革の意義はわかっている、実際の業務量はなかなか減らないというのが実情である。日中は授業や生徒指導でどの教職員も目一杯であり、その他の業務はすべて児童が帰宅した後となる。各自がそれぞれのワークライフバランスに合わせ、調整しながら働き方改革に取り組んでいるところである。
	児童			課題解決への方策 ・担任は児童の学習や生活面の指導に専念できるよう、スクールサポートスタッフや学級運営補助員等との仕事の分担を進め、ICTや集金業務などの外部機関の利用など有効なものはどんどん利用していく。
	保護者			学校関係者評価委員会による評価 ・学び合い学習やICT活用など、もっと進めてもらいたいと思う一方で、次から次へと新しくなっていくことに対応する先生は、研修が増えていき負担が大きくなるのではないかと心配だ。
	地域			